

(表：段階的成果目標)

段階	D P 1 人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる。	D P 2 神奈川をはじめとする地域、社会・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる。	D P 3 看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる。	D P 4 人々の多様な健康課題・発達課題に対し、基礎的知識と技術を活用して解決できる。	D P 5 保健医療福祉の多様なケア環境において看護専門職として多職種と協働できる。	D P 6 探求する態度を持ち継続して学び、成長できる。
L 4	多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる。(思考・判断・表現) 看護の対象となる人々の倫理的課題を解決するために行動ができる。(関心・意欲・態度)	地域、社会・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解した上で、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる。(思考・判断・表現)	看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも(共)に目標に向かう専門的援助関係を形成し評価できる。(技能) 看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる。(知識・理解) 専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる。(技能) 多様な健康課題・発達課題をもつ対象に関心を寄せ共に課題解決する態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	保健医療福祉における看護専門職としての役割を理解し、多職種と協働することができる。(思考・判断・表現)	多様なケア環境に関するテーマを主体的に見出し、実践や知見を分析して系統立てて論理的に記述できる。(知識・理解/思考・判断・表現) 多角的な視点から看護の学習を深めることができる。(知識・理解/関心・意欲・態度)
L 3	多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる。(思考・判断・表現) 看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	幅広い視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる。(思考・判断・表現)	看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える。(技能) 看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる。(知識・理解) 看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる。(関心・意欲・態度)	対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる。(知識・理解) 様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題・発達課題を明確化し、看護を実施・評価できる。(技能) 対象の健康課題・発達課題を解決しようとする態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	保健医療福祉における看護専門職としての役割を理解し、多職種との協働を一部実施することができる。(思考・判断・表現)	実践や課題を振り返り、事実・根拠に基づき考察できる。(知識・理解/関心・意欲・態度/思考・判断・表現)
L 2	看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる。(思考・判断・表現) 看護の対象となる人々の立場をと倫理的課題を理解しようとする態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる。(思考・判断・表現) 多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示すことができる。(関心・意欲・態度)	看護の対象となる人へ関心を寄せることができる。(関心・意欲・態度) 援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる。(知識・理解) 看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる。(技能)	基礎的専門知識・技術を理解し、習得できる。(知識・理解/技能) 対象の健康課題・発達課題や解決方法を判断できる。(思考・判断・表現) 健康上の課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる。(技能) 人々の健康課題・発達課題に関心をもち、関わろうとする態度を示すことができる。(関心・意欲・態度)	保健医療福祉における多職種の連携における看護の役割を理解できる。(知識・理解)	学びの経験を通して、自分の強み・弱みから課題を見出し、探求できる。(知識・理解/関心・意欲・態度) 他者の意見と区別し、自分の考えを表現することができる。(思考・判断・表現)
L 1	人々の尊厳と権利、価値観に関する知識を有し、その重要性を理解できる。(思考・判断・表現) 人間の持つ尊厳に関心を示すことができる。(関心・意欲・態度)	人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知る。(知識・理解) 自己表現によって言動や価値観の振り返りができる。(思考・判断・表現) 他者への関心を持つことができる。(関心・意欲・態度)	看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる。(知識・理解) 他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる。(技能)	基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる。(知識・理解) 基礎的な専門的技術を修得できる。(技能) 人々の健康課題・発達課題に関心を示すことができる。(関心・意欲・態度)	保健医療福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる。(知識・理解)	継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる。(知識・理解/関心・意欲・態度) 主体的に学ぶための基本的なスキルを習得することができる。(知識・理解/関心・意欲・態度/技能)